

地域医療・地域保健 I < B 1 >

オーガナイザー

地域医療支援センター 北野 尚美

教員名

学長 宮下 和久

教授 加藤 正哉, 上野 雅巳

准教授 北野 尚美

講師 山野 貴司

外部講師 崎山 美知代

I 一般学習目標

医療人として求められる社会的役割を担い、グローバル・ヘルスの視点をもって地域・国際社会に貢献するために、地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域社会において保健医療に貢献するために必要な能力を獲得する。Practice based researchの理念と特性を理解し、地域の現場での実践に必要な基礎知識（研究倫理を含む）を修得する。社会と健康・疾病との関係への理解を深め、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について理解し、地域コミュニティにおける予防医学やヘルスプロモーションの取組に必要な能力を獲得する。

II 個別学修目標

1. 医師法、医療法等の医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。
2. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科、臨床医学、社会医学、基礎医学）の現状を概説できる。
3. 限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度を学ぶ。医療計画の変遷（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）と地域医療構想の法的位置づけについて説明できる。
4. プライマリ・ヘルス・ケアとプライマリ・ケアの概念を理解し、かかりつけ医等の役割を説明できる。過疎地域（無医地区、離島を含む）の医療の体制、へき地医療について説明できる。
5. 地域における救急医療、在宅医療について説明できる。
6. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
7. 健康、障害と疾病の概念と社会環境について説明できる。社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因）を概説できる。
8. 予防医学のストラテジーを理解し、地域における予防医学（一次、二次、三次予防）の実践が、地域住民の健康の保持増進、健康寿命の延伸に寄与することを例を挙げて説明できる。
9. 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。地域医療における調査研究 practice based research の特性を理解し、必要性を説明できる。
10. 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準、治験審査委員会・倫理審査委員会）を説明できる。
11. 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。

III 教育内容

講義項目と担当者（予定）

講義日程表

No	月日	曜日	時限	項目	担当
1	2021.10.26	火	3	県民の保健医療のニーズと本学の果たすべき役割を考える	宮下
2	2021.11.2	火	3	救急医療と地域医療	加藤
3	2021.11.5	金	3	プライマリ・ヘルス・ケア, プライマリ・ケア (グループワークの課題と実施方法の説明)	山野
4	2021.11.11	木	3	コミュニティとヘルスプロモーション	北野
5	2021.11.11	木	4	医療計画と地域包括ケアシステム	上野
6	2021.11.12	金	3	医療用医薬品に関する基礎知識 ～医療用医薬品の理解と適正使用のために～	崎山
7	2021.12.10	金	4・5	グループワーク	上野・北野・山野

IV 学習および教育方法

講義と演習 (グループワーク)

V 評価の方法

2 / 3 以上の時間数講義に出席した者を評価の対象とする。評価は、筆答で行い、講義・演習に臨む姿勢と提出されたレポートを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

なお、演習の無断欠席者には履修の認定をしない。

VI 教科書・参考書

1. 地域医療学入門 日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会 監修 診断と治療社 2019
2. WMA 医の倫理マニュアル 原著 第3版 樋口範雄 監修 日本医師会 発行 日本医事新報社 2016
3. 社会を変える健康のサイエンス 東京大学医学部健康総合科学科 東京大学出版会 2016
4. シンプル衛生公衆衛生学 2020 鈴木庄亮 監修 辻一郎、他 編集 南江堂 2020
5. 公衆衛生マニュアル 2020 柳川 洋, 他 編 南山堂 2020
6. 地域保健の原点を探る一戦後日本の事例から学ぶプライマリヘルスケアー 中村安秀 編 杏林書院 2018
7. 健康長寿社会を実現する (「2025 年問題」と新しい公衆衛生戦略の展望) 辻 一郎 著 大修館書店 2015
8. 社会と健康 健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ 川上憲人, 他 編 東京大学出版会 2015
9. 健康行動理論による研究と実践 (一社)日本健康教育学会 編集 医学書院 2019
10. 国民衛生の動向 2020/2021 (第67巻第9号) 厚生労働統計協会 2020
11. 国民の福祉と介護の動向 2020/2021 (第67巻第10号) 厚生労働統計協会 2020
12. 若月俊一対話集1 地域で人間をみる 旬報社 2010
13. 若月俊一対話集2 予防は治療にまさる 旬報社 2010
14. 若月俊一対話集3 豊かな老いをつくる 旬報社 2011
15. 死を生きた人びと: 訪問診療医と355人の患者 小堀鷗一郎 著 みすず書房 2020
16. 子どもの貧困、子どもの貧困II 阿部 彩 著 岩波新書 2008、2013
17. 新型タバコの本当のリスク 田淵貴大 著 内外出版社 2019